

平成 27 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル **国連防災世界会議で発表**

■パブリックフォーラム ID530 の運営と発表

(インドネシア国国家防災庁及び地方防災局の災害対応能力強化プロジェクト)

国際協力機構 (JICA) 及びインドネシア国 国家防災庁 (BNPB) は 2015 年 3 月 14 日、国連開発計画 (UNDP) の後援を受け、東北大学 (川内北キャンパス C205 室) にて、「Mainstreaming DRR into Development through practical DM Planning at the Local Level」と題したセミナーを開催し、世界各国から 60 名以上が参加しました。

本セミナーは、第 3 回国連防災世界会議のパブリックフォーラムの一環として開催されたもので、現在、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル (本社：東京都渋谷区、社長：廣谷 彰彦) が JICA から受託して実施中の「インドネシア国 国家防災庁及び地方防災局の災害対応能力強化プロジェクト」に関連して、実効的な防災計画作成を通じた開発における防災の主流化の重要性について、プレゼンテーションとディスカッションが行われました。

同社からは、JICA 専門家チームとして、都市地域開発部 防災・観光開発グループ長の高橋亮司さんが JICA プロジェクトから得た教訓について、同グループの加藤勝さんが日本の防災政策の変遷について発表を行いました。全 9 名によるプレゼンテーションの後は、国際色豊かな参加者からの質問をもとに、全登壇者によるグループディスカッションが実施され、地方政府による防災対策の課題、ドナー (JICA) プロジェクト終了後の現地政府による継続的な防災への取り組みの推進、民間セクターや地元大学の防災分野への参加の必要性と関与方法などについて、活発な議論と意見交換が行われました。



加藤 勝さんによるプレゼンテーション



高橋 亮司さんによるプレゼンテーション



会場の様子



プレゼンターの集合写真

■Ignite Stage での発表

(イラン国地震災害軽減プロジェクト)

2015年3月16日、仙台国際センター会議棟2階ロビーにて、テヘラン市総合防災管理局（TDMMO）と共同で「Safe Emergency Evacuation Program in Tehran Neighborhood Units」と題し、イグナイトステージにおいて発表しました。50名を超える各国の政府関係者等が傍聴しました。

本ステージは、防災に関連する話題・事業について、15分間のプレゼンテーションができる場で、政府間会合等の議論の枠にとどまらず、より多くの幅広い話題を発表する機会が提供されています。

本発表の前半では、テヘラン市総合防災管理局 タギザデ総裁アドバイザーが、TDMMOの紹介とJICAの支援の歴史について発表しました。同社は1999年から15年以上に亘って、イラン国テヘラン市の地震災害軽減のためにJICAが実施する事業を通じて支援、技術協力を続けています。

本発表の後半では、2007年から2010年に実施した「地震後72時間緊急対応計画構築プロジェクト」に関連し、住民参加型の取り組みとして避難マップや避難訓練等の成果を、高橋亮司さんが発表しました。継続的なプロジェクトを通じて、TDMMO職員の人材育成・能力向上が進み、テヘラン市内全体の市民防災活動に水平展開されています。発表の最後に、避難訓練の映像を紹介し、非常に多くの方の興味を頂きました。



発表の様子

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

TEL: 03-6311-8048

FAX: 03-6311-8020

URL: <http://www.oriconsulglobal.com/>

都市地域開発部 川副 育大